

平成 20 年度 第 1 回 平塚市博物館協議会 会議録

開催日時

平成 20 年 5 月 22 日 (木) 10 時 ~ 12 時

開催場所

平塚市博物館 特別研究室

会議出席者 (敬称略)

会 長 江藤 巖

委 員 立山 洋典、森島 啓子、牧野 久実、井上 太郎、片山 興大

事務局 明石館長、井上館長代理、鷹館長代理

会議の概要

1 開会

2 委嘱状交付

3 会長および副会長の選出

4 会長・副会長あいさつ

5 議 題

(1) 度事業報告について

平成 19 年度

入館者状況について

プラネタリウム観覧者状況について

教育普及活動について

施設利用状況について

展示事業について

収入について

平成 20 年度

第 3 回博物館子どもフェスタの開催結果について

以上について、事務局から資料にもとづき一括して報告し、承認された。

〔質疑応答〕

委員：入館者が増えた理由の一つとして博物館、美術館、図書館の協働による宮沢賢治の銀河鉄道の夜の投影があげられると報告があったが、大変素晴らしいことなので今後も続けてほしい。

事務局：予算などの難しい面もあるが、文化公園施設情報交換会などで検討し、この文化公園ゾーンに足を運んでもらえるような事業（イベント）を取り入れていきたい。

委員：子供だけで自由に出入りができ、イベントに参加できるような館の雰囲気があるように感じたが、何か秘訣があるのか。

事務局：最近は治安や交通事情から気楽に子供同士で来館できる状況ではないが、親子連れで楽しめるよう、配慮している。また、さまざまな会の方が子ども達に楽しんでもらおうという気持ちで協

力していただいている。

委員：他館や他市に視察に行くと、平塚の博物館は他とは違う来館者と協働で運営している館でとても好評である。学芸員の数が少ない中で大変だと思うが、これからもこういう体制を続けてほしい。

事務局：特段意識しているわけではないが、自然な形で現在まで来ている。逆に会の皆さんに育てられている面もかなりあると思う。これからも、続けていきたい。

(2) 今後の予定について

館内のくん蒸等について

夏期特別展「平塚市博物館こだわり 100 選」の開催について

平成 20 年度博物館実習生の受け入れについて

秋期特別展「金目川物語(仮称)」の開催について

以上について、事務局から資料にもとづき一括して報告し、承認された。

〔質疑応答〕

委員：「博物館こだわり 100 選」展のような柔軟な発想ができるのは、この館の各分野の連携というか横のつながりがあるからこそ出る発想なのかと感心している。

事務局：6 分野の学芸員が共通のテーマで地域を調べる、という方法は準備室時代からの伝統であり、相模川辞典などの成果も上げてきている。今回のテーマの金目川は平塚にとって相模川以上に人々の暮らしにかかわりがある。自然、人文の分野を超えた取り組みを進める恰好の題材だと考えている。

委員：「金目川物語」展は金目川の近くの学校の良い教材として利用できるのではないか。

委員：是非、校長会などで P R していただきたい。

(3) その他

特になし。